地域とともにある学校づくり

品川コミュニティ・スクール通信　VOL.9

品川コミュニティ・スクール 5年間のあゆみ

令和3年3月31日発行

平成27年のモデル実施を経て、平成28年から導入された品川コミュニティ・スクール。その後、3年かけて全校46校が導入し、現在では、47名の学校地域コーディネーターを中心に、学校・地域・保護者が連携・協働し、子どもたちの健やかで豊かな成長のために活動しています。

そこで、今号では、これまでのあゆみを振り返ります。

平成２７年度 はじまりは3校

平成２７年、浜川中学校、鮫浜小学校、浜川小学校の３校合同で、試験的に導入。活動を通して、その有効性や推進していく上での課題を洗い出し、本格導入につなげました。

３校合同で始まった校区教育協働委員会

平成２８年度 初年度は15校が導入

翌年の平成２８年、１５校で「品川コミュニティ・スクール」は始まりました。

ここで、新しい仕組みに取り組んだ、鮫浜小学校学校地域コーディネーター河出さんに当時を振り返っていただきました。

「当時は、すべてが手探り。職員室に席があることに慣れず、何をしたらよいかもわからない状態で、まさにゼロからのスタートでした。

まず初めに心がけたことは、コミュニケーションを積極的に取り、信頼を得ることです。鮫浜小学校の先生方や地域の方々には、優しく導いていただき、とてもありがたかったです。

その上で、学校の様子を見て、支援できそうなことを洗い出したり、教員からの要望に応じて早速ボランティアしていただける方を探したり、これまでバラバラに活動していた学校支援活動を組織化したり…。近隣校とも連携し、活動は徐々に広がっていった印象です。

コーディネーターは学校に一人なので孤独感を感じることもありましたが、連絡会や近隣校のコーディネーターとの打ち合わせと『あせらず、あわてず、あきらめず』の言葉が心のよりどころとなりました。」

連絡会では、さまざまな情報交換が行われた

発行物

平成27年 2015年　平成28年 2016年　平成29年 2017年　平成30年 2018年　令和元年 2019年　令和2年 2020年

平成２９年度

２年目には３１校に

２年目に導入した学校には、準備研修を行い、よりスムーズな導入が図られました。

学校地域コーディネーターも33名と人数が増え、連絡会での内容もより実践的な内容となりました。

パンフレットを作成するなど周知に力を入れ始めました。

準備研修では熟議を体験

教育の広場Vol.88

平成３０年度

３年目には全校導入され、フェスタを実施

導入３年目。全校導入を機に、広く地域に活動内容を周知する目的で「しながわ！コミュニティ・スクール　フェスタ」を開催しました。

当日は、1,600名ほどの保護者・教員・地域の方々が来場し、各校の取り組みについて説明を受けたり、企業や団体等の教育プログラムを体験いただきました。

フェスタを機に作成された、品川CSのロゴマーク

学校と外部人材をつなぐ機会となりました

平成31年度・令和元年度

全校導入2年目、次のステップへ

活動が定着し始め、登録学校支援ボランティア数も2,000名を超えました。

校区教育協働委員会での「熟議」を通して、地域との連携活動や学校の課題を共有する学校も増えてきました。

次のステップとして、この仕組みを持続的にするために必要な施策を検討する段階に入りました。

令和２年度

全校導入3年目 コロナ禍でもつながりを止めない

導入５年目、全校導入から３年目の今年度は、コロナ禍という制約があり、校区教育協働委員会は回数を減らしたり、時間を短くしての実施となりました。未曽有な状況にどのように対処するか、話合いが行われた学校もありました。

また、学校支援活動も縮小しての実施となり、「つなぐ」ことを役割としているコーディネーターとしては、難しい一年となりました。

そのような制約の中でも「できること」を探し、「品川地域未来塾」に力を注ぐ学校が多かったようです。

一方、出前授業などをオンラインで実施することにチャレンジした学校もありました。

教員と校区教育協働委員による熟議の様子

新しいツールにもチャレンジ

今後も、学校の特色を生かして品川コミュニティ・スクールを進め、地域とともにある学校をめざしていきます。

品川コミュニティ・スクールについて、ホームページで詳細をご紹介しています。

品川コミュニティ・スクール　検索

発行・問い合わせ

品川区教育委員会事務局
指導課学校地域連携係

〒140-8715
東京都品川区広町2-1-36
TEL. 03-5742-6595